

<事業名>

生野銀山湖でワカサギを釣ろう

団体名	市川生野漁業協同組合
所在地	朝来市生野町
代表者名	組合長 八 尾 誠

事業内容	<p>今事業の4年目を迎え、当初計画通り4回大会を実施した。 今事業の採択が永年の地域の懸案問題であった新事業解決への糸口となった。特に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬季5ヶ月間の空白期間が冬場産業への特化事業として進展したこと ・インフラ整備の中心をなすビニールドームに至るフロート(浮き棧橋)の更なる安全を期するため補強した。 ・当協の将来事業が内水面の多面的発揮事業へ発展しつつあること。 ・一般愛好者のみならず学童・生徒と公民館活動の冬季親子体験学習として年間計画に組み入れられ実施できるようになったこと。 ・平成30年度ワカサギの卵は3,000万粒買い入れ、95%の孵化率を達成し銀山湖に放流した。等々から大きな収穫を得ることができました。
------	--

地域	朝来市全域及び大阪・神戸等近畿圏
----	------------------

事業の効果	<p>①団体(組織)内の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生野漁業協同組合の理事会、総会で事業内容と今後の取組みについて説明し、NPOの組織にて2つの自治協議会等へ広く浸透を図った。 ・併せて、小学校から中学と学童・生徒の公民館活動の冬場の親子釣り体験への参加を呼びかけた。 ・平成31年2月民放テレビの企画報道でワカサギ釣りの取材を受けて放映され、大きな話題となった。 <p>②地域への効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民放によるTV放映を契機に、地域でも学校教育、公民館体験活動として大きな関心事となっていることから、ワカサギ釣り愛好者への相乗効果も大きい。 ・ワカサギ釣り愛好者の来場は昨年800名余りの処、今年度は西日本豪雨の影響で減少傾向にあったが、最近になって増加しつつある。 <p>③高孵化率の達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質、水槽、孵化器の厳格な維持管理が功を奏して95%以上の高孵化率を達成している(県内外地域では40%~70%程度) <p>④チラシの配布効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様明石・大阪で3店、福崎・京都で2店、姫路・相生・赤穂で3店と配布範囲の拡大に努力している。
-------	---

事業経過	年 月 日	
	30/4/20 6/15	市川生野漁業協同組合理事会 (商工会生野支所2F会議室 5名出席)
	30/9/14 12/14	
	30/6/15	同上 総会 (商工会生野支所3F会議室 15名出席)
	30/5 ~ 31/2	いくの地域自治協議会運営委員会 (1回/月 マインホール 35名前後出席) 奥銀谷地域自治協議会運営委員会 (1回/月 自治協会議室 20名前後出席)
	30/5/31	NPO法人いくのライブミュージアム総会・役員会 (商工会生野支所 20名)
	30/9 ~ 30/11	釣り場の整備、救命胴衣・釣り具の整備
	30/10~30/11	地元生野小学校、中学校、和田山公民館へワカサギ釣り体験要請 朝来市公民館活動の行事計画への体験組み入れ (生野地区)
	30/10~30/11	兵庫県釣りインストラクター協会との打合 (3回現地で実施)
	30/10~30/11	ビニールドームに至る浮き棧橋、フロート強化工事 釣り大会 4回実施 30/11/25 (20名) ・ 30/12/23 (20名) ・ 31/1/13 (20名) ・ 31/2/10 (20名) 【参加者総計80名】
31/2/18	総括反省会 (商工会生野支所2F会議室 5名出席)	

協	・ 兵庫県釣インストラクター協会
---	------------------

働 の 相 手 方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝来市公民館（含む 小・中学校PTA） ・ いくの・奥銀谷両地域自治協議会 ・ NPO法人 いくのライブミュージアム ・ 生野・黒川溪谷を守る会
今 後 の 課 題 等	<p><事業を実施する上での課題></p> <p>①団体（組織）の課題 従来漁協が果たしてきた河川清掃、あゆ・あまごの放流事業から今事業を契機として内水面多面的発揮事業にシフトできた事が今後冬場の発展的産業への方針転換となり、協力体制が構築できた。</p> <p>②地域の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝来市全域に亘り学校教育の体験学習を中心として親子釣り教室・大会等を開催して更に広く定着させていきたい。 ・ 併行的に広く一般愛好者の方へPRを図りたい。 <p>③銀山湖においては平成30/7西日本豪雨に見舞われ、それが影響によって湖面全域に亘って濁りが発生した。それに伴って水温も変化し、産卵時期の遅れ現象が起きていたが、平成31/1以降改善の兆しが見え始め、今現在本来の状態に戻りつつある。</p> <p><31年度以降の事業計画></p> <p>ビニールドームを中心として釣り場のインフラ整備が着実に強化・充実しつつある。冬期5ヵ月間に亘る空白期間の対応策に産業として特化できたこと等々から31年度以降は銀山湖の特徴・利点を広くPRし、集客に力点を注ぎつつ施設の安全化に一層取り組み、今事業を経営的にも軌道に乗せたい。</p>



平成30年11月25日 ビニールドームでの風景



平成30年12月23日 釣り大会参加者へ釣り方の説明



平成30年12月23日 ビニールドーム内の釣り風景



平成31年2月10日 釣り風景